



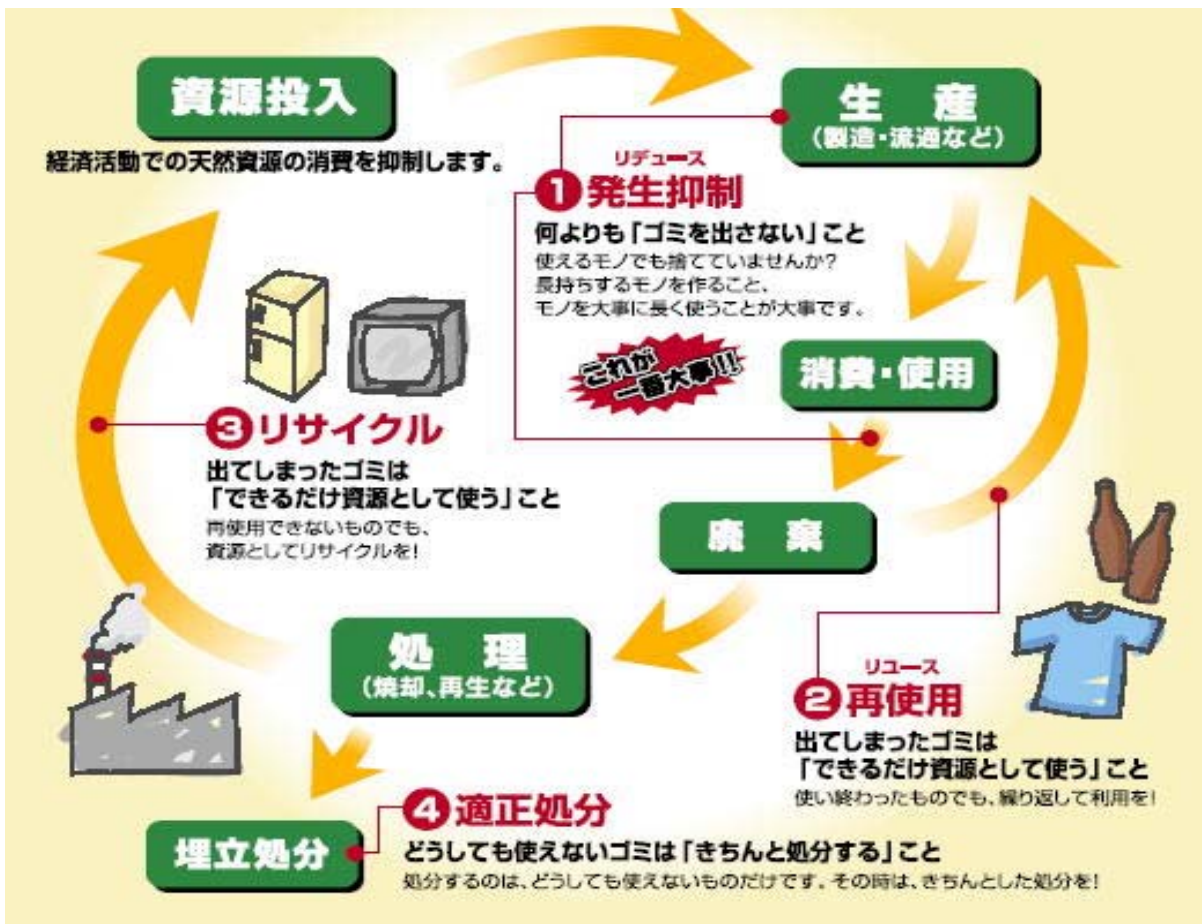
## 5 ごみをつくらない3つのR

私たちは、これまでたくさんの資源を使ってものを作ったり、使ったり、捨てたりして便利な生活を送ってきました。しかし、資源には限りがあり、またごみを埋め立てる場所が不足してきているなどの問題が出てきています。

これまでの社会のあり方を見直し、ものを作ること、使うこと、捨てることの各段階で、物を大切に使い、ごみを減らすこと（リデュース）、繰り返し使うこと（リユース）、再び資源として利用すること（リサイクル）など、3Rを進めていくことで、ごみを減らし、資源や物を大切に作る循環型社会を作っていくことが必要です。

循環型社会を作っていくためには、行政とともに、企業や県民のみなさんがお互いに協力しあい、みんなで一緒に3Rを実行することが大切です。

### 循環型社会のものの流れ



### 3Rとは？

#### REDUCE = (リデュース)

リデュースとは、「減らす」という意味です。つばり、新しい物をするときにゴミになるものももらわなかったり買わなかったりしてごみの量を減らすものです。

#### REUSE = (リユース)

リユースとは、「繰り返し使う」という意味です。何回でも使って使えるビールびんなどのリターナブルびんが代表的なものです。

#### RECYCLE = (リサイクル)

不要になったものを、資源として回収し、再生資源として再利用するものです。再資源化して循環させましょう。



家庭でできる3R

# 家庭でできる REDUCE

ごみを買わない、ごみをつくらない工夫をしましょう。  
生活の中のごみ減らしは、買い物ときから始まっています。



お買物時が  
大きな  
ポイント。

- 1 買い物には、  
買い物袋やかごを  
持って行く。
- 2 買い物時、ごみになる  
プラスチックトレーの  
商品を抑える。
- 3 本を買うとき、カバー  
が不用ならば断る。  
「カバーはいりません  
😊」
- 4 よくばらず、  
必要なものだけを  
買う。  
「これもほしい  
あれもほしい  
雨傘も買おうか?」  
「これは  
ぜったい  
必要」

# 家庭でできる REUSE

ごみとはいえ、もともとは自分のお金で買ったもの。  
少しでも長く、大切に、最後まで使い切るようにしまし  
ょう。



チョットした  
工夫で  
再利用。

- 1 シャンプーや洗剤は、  
詰め替え用を利用  
しましょう。
- 2 使い古したタオルは  
そうきんに作り変え  
て利用する。
- 3 ビールや牛乳は繰り返し  
し使えるリターナブル  
びんを買う。
- 4 フリーマーケットなど  
で不用品を売ったり  
して交換したりする。

# 家庭でできる RECYCLE

リサイクルは分別から始まります。  
※資源ごみの分別方法は市町村によって異なります。



ごみの分別が  
一番大切。

- 1 空き缶は中を軽く  
水洗いし、スチール缶と  
アルミ缶に分けて  
出しましょう。
- 2 ペットボトルはマー  
クがついているものだけ  
をキャップをはずし、  
買物を取り除きしま  
しょう。
- 3 牛乳パックは、中を  
きれいに洗い平面に  
切り開きよく乾かし、  
重ねて整理します。
- 4 家庭から出るごみを  
使って堆肥づくりを  
する。